

さようなら そして ありがとう ～タコのお別れ会にあたって～

本日をもって、調布駅前公園を閉園することになり、たとえようのない寂しさを感じています。長年にわたり、多くの市民の皆様「タコ公園」という愛称で親しまれ、子どもたちの笑顔と歓声が絶えない公園でした。これまで、多くの市民の皆様にご利用いただき、心から感謝申し上げます。

愛称の由来となったタコの滑り台は、今から45年前の昭和46年に設置されました。以来、お色直しはあったものの、現在の場所に、同じ姿で存在し、子どもたちの成長と調布駅周辺の発展を見守ってきました。そして、親子代々、多くの方々から親しまれてきました。これからは、私たちの記憶という海原で、子どもたちの元気な姿とともに泳ぎ続けることでしょう。

調布駅前広場はこれから大きく変貌を遂げようとしています。より一層のにぎわいと憩いに満ちた空間として生まれ変わります。工事中はご不便をおかけしますが、どうかご理解とご協力をお願い申し上げます。

また、平成30年度には、市役所の西側の線路跡地に新たな公園を整備いたします。調布駅前公園の歴史と長年利用されてきた市民の皆様の思いを受け継ぎながら、一層愛される公園を目指してまいります。

最後に、本日のお別れ会に来ていただいた皆様とともに、この愛されてきたタコの滑り台に、感謝の気持ちを込めて述べたいと思います。

さようなら そして 長い間本当にありがとう。

平成28年9月30日

調布市長 長 友 貴 樹